



国際EAP協会 / アジア太平洋EAP円卓会議公認

EAP入門

～EAPの重要な知識と職場の事例検討研修～

本研修は、「EAPを国際レベルで学ぶことができる」国内でも貴重な機会です。産業保健スタッフをはじめ、人事・管理職・経営者の方々まで、組織支援に携わるすべての方に不可欠な知見を凝縮したプログラムです。

お申し込み方法

以下の項目を記入し、当ホームページ「お問い合わせ」からお申し込みください。

- ①氏名(漢字および英語表記)
- ②勤務先
- ③職種
- ④臨床心理士資格の有無

◎ 開催方法:オンライン形式

◎ 受講料:28,000円

◎ 対象者: EAPに関心のある方はどなたでも、「初心者」から「経験者」まで、安心して学べます

■ 本研修の大きな特徴

・国際資格「CEAP」への必須ステップ

EAPコンサルタントの上位資格である「CEAP(国際EAPプロフェッショナル)」資格の取得要件に指定された、重要な教育・導入研修です。

・「EAP的視点」を事例から学ぶ

単なる理論学習に留まらず、具体的な事例を通じたディスカッションを重視。通常のメンタルヘルス対応とEAPによる支援の「考え方の違い」を、初心者から経験者まで納得感を持って学べます。

・世界に認められる「知識の証明」

修了者には、米国EAPA本部およびAPEAR本部理事長が連名する研修修了認定証を発行。さらに、APEAR公式サイトの「修了者名簿」に氏名が掲載され、国際基準の知識を持つ専門家として証明されます。

■ 講座内容:理論から実践、そしてEAP特有の視点まで

専門家として「組織の中でどう動くか」を、以下のトピックを通じて多角的に学びます。

・EAPの基礎と構造

EAPの定義、および専門性の核となる「コアテクノロジー」、多様な「サービス提供モデル」を体系的に理解します。

・組織へのアプローチ:マネジメントリファーマーとコンサルテーション

上司が部下へ利用を勧める「マネジメントリファーマー」の定義やプロセスに加え、人事・管理職の悩みに対し専門家が助言・コーチングを行う「マネジメントコンサルテーション」の役割を学びます。通常のカウンセリングとは異なる、組織を支えるコンサルティंगの基本を整理します。

・事例検討(対応方法と倫理的判断)

実際の職場事例を通し、ディスカッション形式で理解を深めます。EAPならではの対応のコツや、現場で直面する倫理的課題への考え方もカバーします。

【詳細・お申し込み】

- ・研修の具体的な日程や申し込み方法については、ホームページの「お知らせ」をご確認ください。
- ・キャンセルポリシーについてはホームページをご確認ください。

一般社団法人 目白心理総合研究所

<https://www.m-paa.org/contact>